

野生動物被害管理学

①農業被害の背景・要因・実態

講師：東京農工大学 野生動物管理教育研究センター 諸澤崇裕

農業被害が起こる背景や要因について紹介し、農業被害の実態・現状がどのようになっているのかを解説します。農業被害が起こる背景や要因については、野生動物の生息状況、狩猟者の減少など社会的な背景、法制度の変遷などに触れつつ、近年影響が懸念されている気候変動の影響についても触れます。農業被害の実態については、獣種ごとの農業被害の特徴に触れ、全国的な被害の傾向や課題などを解説し、軽減手法につなげる内容としています。

②農業被害の軽減手法

講師：東京農工大学 野生動物管理教育研究センター 諸澤崇裕

農業被害を軽減するための概念およびその概念を用いた対策手法、事例について紹介します。被害軽減の基本的な考え方の個体数管理、被害管理、生息環境管理の3点についてそれぞれのどういった点がポイントとなるのか、各地の取り組み事例も交えて解説します。特に、対策において重要となる場所ごとの対策の考え方に焦点を当てつつ、獣種ごとの効果的な取り組み事例を紹介します。最後に、紹介した事例等を踏まえて被害対策を実施する各主体がどういった役割を担うべきなのかについても解説します。

③森林での野生動物被害

講師：東京農工大学 野生動物管理教育研究センター 小池伸介

野生動物が引き起こす林業被害や生態系への悪影響など森林における被害について、被害の実態、被害を発生させる野生動物の生態、ニホンジカの過増加など新たな課題について紹介します。まず、林業被害や生態系への影響についてその歴史や社会背景を解説します。次に、被害を起こす側の野生動物について、獣種ごとにどのように被害を与えるのかその特徴について野生動物の形態、食性、生態に触れつつ解説します。解説の中では、獣種ごとにどういった被害があるのかを被害の写真を多く実例として紹介しつつ、軽減手法につなげる内容としています。

④森林での野生動物被害の軽減手法

講師：東京農工大学 野生動物管理教育研究センター 小池伸介

上記③で解説した野生動物被害に対する軽減手法、対策について取り組み事例を交えつつ紹介します。基本的な対策としては、物理的防除、化学的防除があり、それぞれの特徴をまず解説し、それぞれの具体的な対策事例を紹介します。また、獣種ごとに物理的防除、化学的防除の有効性が異なるため、獣種ごとの対策手法の考え方についても解説します。最後

に、近年新たに問題となってきたニホンジカの過増加について、森林生態系における影響を詳細に解説し、対策についても触れます。